つてゐることを、此機會に漏したのである。（五月三十一日）

新しいものは、古い頭の人には解らない。今日自由劇場で見た『第一日の曉』といふ象徴劇は、何の事だか分らなかつた人が多かつた、作者と同じ年頃の人で、同し學問同し傾向の人には、よく解されたかも知れないが、他人には、たゞ幾分の稀薄な心持が受け入れられただけで、深い強い印象は得られなかつたと思ふ、見てゐるうちも、忘我の境地に引入れるだけの感興を起させず、見た後に、深く味ふだけの餘韻もなかつた。若し藝術といふものが、其時代其場處の一小部分なる、同じ傾向の人々にのみ解されさへすればよいものなら、此劇の如きも上乘なるものであらう。たゞ之を演ずる俳優が、どれ程此作の意味を解してゐたか、私には今に疑問として殘つてゐる。（六月二日）

明年度展覽會々場の事で、竹の臺幹事會へ臨席した、ある人の話に、日本畫家でも今は弟子を置くことを好まない、弟子を置て面倒を見ても、一人前になると師匠の欠點ばかりを見て、自分が教はつた幼稚時代の恩を忘れてしまう、たゞ自分一人でエラくなつたやうに考へてゐる、忙しい思ひをして、そんな人間を幾人世話した處で詰らぬからであるといふ。

この事は、單に畫家ばかりではない、密接の關係ある親子の間にさへ例のあることだ。師匠がいくら骨を折つても、弟子に其心が無ければエラくはなれない、エラくなつたのは師匠ばかりの力ではない、それを思つたら、恩返しをせぬからとて苦情を言ふことはない。師匠は其弟子が己れより上手になるやうに、日々進歩するのを樂しむでゐさへゐればよい、其心を持つて弟子に對したなら、何も不快な事は生ずまいと思はれる。（六月五日）

研究所の夜の部はコスチユームである。ある人々は、水彩や油繪で寫生してゐる、瓦斯の光りで彩色する場合に、單に色のみを見て似せやうとすると、目的は達せられない、色のほかに、明暗の調子をよく注意して研究しなくてはいけない、この明暗の調子が合ふてゐると、畫間見ても決しておかしくない、この事は、單に夜の稽古ばかりでなく、畫間景色を寫生する場合にも、色にばかり氣をとられずに、明暗遠近といふやうなるを忘れないやうにしたいと、集つてゐる人達に話をした。（六月八日）

■東京牛込區市ケ谷富久町七十一、山江社にては大下藤次郎氏を顧問とし、各種の肖像畫は極めて低廉の價にて註文に應ずべく、印刷物裝飾圖案及び挿繪、廣告圖案、看板意匠、商標圖案等を引受け依願者に滿足を與ふべく親切に業務に從事する由なり。規定入用の方は送料を添へ山江社へ申込まれよ

＊　＊　＊　＊